

日時 平成28年2月19日(金)
午後7時30分から9時00分
場所 地域交流センター

質問1

「トップアスリートと触れ合える機会の検討」について

【質問者】

2012年から王寺町に住んでおり、子どもが2人おります。平井町長が就任されてから非常に住みやすいまちになっていると実感しています。また役場のみなさまにもお礼申し上げます。

私は、平日は大阪市内で中小企業の支援機関に勤務する傍ら、昨年9月に、王寺町で法人を起業しました。主な業務はとりわけトップアスリートの力を活用した青少年育成や地域コミュニティの活性化です。非常に住みやすく満足している王寺町ですが、子どもを持つ親の立場としては、トップアスリートと触れ合う機会が少ないことを大変残念に感じております。他都市の例を出しますと、大阪府や大阪市などお隣のまちでは、トップアスリートが小学校を訪問するという授業をそれぞれの自治体が主導して活発に実施しています。ぜひ王寺町でも実施をお願いしたくタウンミーティングに参加しました。お願いするだけではいけないと思い、今月の29日に自社の取組としまして、元ラグビー日本代表で今は近鉄ライナーズで活躍しているタウファ統悦選手を王寺北小学校へ招待し、子どもたちと触れ合う機会を設けさせていただきました。町職員の方もぜひ視察に来ていただければと思います。職業柄、競技を問わず多数のアスリートと親交があり、このような普及活動にアスリートは非常に積極的に取り組んでくれます。決して何十万もお金を払う必要はありません。総合戦略案の中に、憧れのスポーツという文言がありますが、子どもたちに年に1度でもトップアスリートと触れ合いができる機会の検討をぜひお願いしたいと思えます。

【教育次長】

教育次長の乾と申します。貴重なご意見ありがとうございます。ただいまおっしゃっていただいたとおり、プロで活躍されているアスリートと触れ合うことで子どもの夢に非常に大きい影響を与えることができると考えております。今後、各小学校でトップアスリートの講演等を計画していきたいと考えておりますので、その節はご協力のほどよろしく申し上げます。

【町長】

子どもたちの学業はとても大事ですが、それに加えておっしゃるように一流のものに触れることも非常に大事だと思っております。町単独で一流のアスリートを呼ぶのは難しいですが、色々と国からの助成もありますので、極力活用して王寺町で一流の方々と触れ合える機会をつくることをまず考えていきたいと思っております。王寺町出身の一流のスポーツ選手がいればよいですが、なかなかいません。香芝市ですと、サッカーの檜崎選手がいらっしゃいますが、例えば奈良県全体で呼び出す機会もあると思っております。本当はオリンピックまでにそういった方を早めに呼んで、オリンピックに出るような選手を育成したいという夢があります。そういった取組はぜひ進めたいと思っておりますので、ご協力をお願いしたいと思います。

質問 2

「ISBN（国際標準図書番号）の導入」について

【質問者】

王寺北小学校で図書室ボランティアをしております。この前のタウンミーティングのときに司書の方を配置してほしいとお願いしましたところ、この春から来ていただいております。また、バーコード化もしていただきましたので、子どもたちは大変喜んでおり、気に入っているようです。しかし、司書の方には週に1回ではなく2回や3回などもっと来ていただきたいと思っております。

ひとつ問題がありまして、雪丸の絵本をおいてくださっているのですが、バーコード化したことによって、ISBNを取得していない本はデータベースに載っていないため、子どもたちに貸出ができないのです。その場で読むことはできるのですが、新しく買った図書のシステムがそのようになっており、貸出はできません。ISBNコードは本へ印刷する必要はありませんので、できれば取得していただきたいと思っております。コードの取得は2、3万円でするので、取得してデータベースに雪丸や聖徳太子や達磨寺などのキーワードを入れておけば、すぐに貸し出しができるようになります。学校でそれをすると思うとお金がなく、またシステムがそうならないためできません。それを取り入れることで、学校で貸し出しができるだけでなく、日本全国で聖徳太子などが検索されたときに雪丸の絵本が検索に引っかかるようになります。今は存在していることが外から見えていない状態ですので、ぜひこのISBNを取得していただき、子どもたちにすぐにでも貸し出しできるようにしていただきたいと思っております。

また、司書の方には毎日でも来ていただきたいと思っております。よろしくお願

します。

【教育次長】

教育次長の乾です。今おっしゃっていただきましたISBNについて、私はシステム的に詳しくないのですが、できるだけそういったシステムが活用できるかどうかについて研究をしてまいりたいと思います。

また司書につきましては、平成28年度の4月からは毎日各学校に司書を配置する予定ですので、よろしく願いいたします。

【町長】

先ほども触れたのですが、やはり読書習慣を小さいころから身に付けるということは大事だと思っています。それから司書のご要望もありましたが、できる範囲内で頑張っていたらこうと思っていますし、学校の図書も従前よりは充実していると思っています。できるだけそういった読書環境を充実させ、読書習慣を持っていただきたいということで、総合戦略案にもありますが「ビブリオバトル」をぜひ王寺町でも根付かせたいと思っており、3月26日に初めて開催したいと思っています。奈良大学の教授に来ていただき、5人の方に発表していただいて、そして自分の読みたい本を投票していただきます。生駒市など色んな図書館で開催されていますが、そういった取組を行い、できるだけ読書に親しむ環境を整備したいと思っています。最初は中学生と高校生で行いたいと思っていますが、一般の方にも広げていき、工夫しながら環境を整えていきたいと思っておりますので、ぜひご参加いただけたらと思います。よろしくお願ひします。

質問3

「舟戸1丁目地内の町道整備（大和川の堤防敷道路の早期整備）」について

【質問者】

町長が就任されて第1回目のタウンミーティングでお願いしたのですが、久度から舟戸1丁目それから河合町へ通じる町道について、堤防に道路を設置するようご要望させていただきました。しかし、信号を設置しなければならないとか、25号線の右折の前の通りに信号を付けなければならないがスペースがないとか、否定的なことばかりを言われます。久度から舟戸の方へ行く場合、歩くスペースがないため非常に危険です。特に朝夕の通勤時間帯はものすごく混雑します。そういったことから、ぜひ堤防のところに道路の設置をお願いしたいです。老人が外へ出ないと言いますが、非常に危険な状態では外出ができ

ません。よろしく申し上げます。

【町長】

2年前のタウンミーティングでご指摘いただき、当然承知しております。その時に少し触れたかもしれませんが、河合町の都市計画と王寺町の都市計画を見直そうとなっています。あの路線だけではないですが、そこも含めて30年、40年経っている都市計画を一斉に見直そうというのが国をはじめ県の動きとなっています。町についても、今ある都市計画を見直す手続きがどうしても必要になってきます。おっしゃっていただいたように、地勢からすると通過交通をのぼす場所は、おそらく堤防敷を使ってうまくのぼすしかないというのは、そのとおりだと思います。今、その工法で検討なり手続きをぜひ進めたいと思っています。この前もお話させていただきましたが、国道25号線にぶつかるところが、今のままでは物理的に右折左折の十分なスペースがとれません。これはどこか工夫していかなければならないと思います。ただ根本となる国道25号線の4車線化を昨年夏に、斑鳩町と三郷町と王寺町で国に要望書を上げました。なんらかの対応をしていただけるように期待しています。単にひとつの改修だけでは交通量をスムーズにするのは難しいと思います。25号線の4車線化は今おっしゃっていただいている舟戸地区にもつながってきますので、改善に向けて手続きを進めていきたいと思っています。

【進行】

他にご質問はございませんでしょうか。おられないようですので、以上をもちまして、本日のタウンミーティングを閉じさせていただきたいと思っています。それでは平井町長より本日お集まりいただきましたみなさまへのお礼も含めまして、ご挨拶を申し上げます。

【町長】

長時間ありがとうございました。本日ご説明させていただきましたが、十分な説明ではなかったかもしれません。総合戦略の案をお持ちいただきまして、またご自宅でお気づきの点があればぜひ町へお寄せいただきたいと思います。またパブリックコメントということでもご意見を募集させていただきます。先ほども申し上げましたが、今回の総合戦略は今後10年を見据えたうえで本当に基本となる大事な施策だと思っています。なるべくみなさまのご意見を賜ることをぜひお願いして、本日のお礼の言葉に代えさせていただきたいと思っています。本日は本当にありがとうございました。